

# しおさいかわら版

発行所  
小名浜まちづくり  
市 民 会 議  
TEL: 52-1275  
FAX: 52-1415  
発行日  
平成 28 年 12 月 20 日

## 変わりゆく小名浜 ⑧ ペDESTリアンデッキ



北側 県道小名浜港線  
(通称：八間道路)  
幅 10 m、長さ 48.8 m  
西側 県道小名浜港線  
(通称：鹿島街道)  
幅 2.5 m、長さ 36.3 m  
南側 臨港道路 2 号線  
幅 10 m、長さ 37.3 m  
平成 29 年 3 月末 完成予定

アクアマリンパークを中心とした周辺地域の再生・整備に向けた取り組みが着々と進んでいます。イオンモールの一足先に姿を見せ始めたペDESTリアンデッキ。

鹿島街道側には、高速バス乗降場になる交通ターミナルが整備され、八間道路側は、路線バス乗り場の設置が計画されています。これにより歩行者は直接路面を横断せず、安全に各エリアへ移動することが出来ます。また、このデッキは災害時の緊急避難路としても大きな役割を持つています。アクアマリンパーク側は嵩上げされ、そこからイオンモールの2階を通って北側に安全に避難することが出来ます。

イオンモールが完成すると、既成市街地からは汐風竹町通りを抜け、イオンモールの中を通り、アクアマリンパークの各施設を回遊できるようにあります。市街地とアクアマリンパークを結ぶペDESTリアン



## 11月全体会議

11月24日にまちづくりステーション小名浜において、11月全体会議が開催されました。講師に仙台市都市整備局市街地整備調整課の洞口文人氏を招き「せんだいりノベーションまちづくり」について講演していただきました。今までの大型再開発ではなくコンテンツ再開発を行っている。大きい建物を建てるのが再開発ではなく、若い人たちがチャレンジしやすい環境を作る。「再開発をしても人口は増えない。人口が増えれば再開発が成り立つ」。現代版家守によって、都市資源を再評価してリノベーションし、人材育成・コンテンツづくりのための地域づくりをすることが基本的な考えで、計画を進めるにあたり公民連携型のせんだいまちづくり計画検討委員会を立ち上げ、仙

台家守講座などの、進めってきた事業を紹介していただき、ご講演頂いた洞口文人氏

ききました。その仕掛けは若者たちによるものですが、年代層に応じた参加の仕方があることも、ポイント

ト市を視察してきた様子の報告を交えながら紹介して頂きました。

主人公の星心平くん。正義感が強く、競輪選手を目指す地元の高校生で、元気の源は小名浜名産のカジキメンチカツを食べること。熱血バカと言われそうなお直ぐで純粋なまさに主人公らしい男の子です。そんな星心平くんの運命が戦艦!? 澤風・汐風との出会いによって大きく変わります。小名浜の海を守り続けてきた駆逐艦澤風・汐風が、アニメの世界で戦艦!? とし

## しおかせプロジェクト 発進!! Vol.3

て蘇るのです。澤風・汐風はとても幻想的な思念体としても登場します。少し陰を感じる姉の『澤風』と小名浜の海を愛する弟『汐風』は美しく描かれています。二人が小名浜の海に現れた理由は震災の影響で異界とつながってしまった小名浜が新生物に浸食されてしまう事態になり、小名浜港の守り主、澤風・汐風が思念体から戦艦に変身して戦いにいどま

す。がしかし、問題があったので。澤風のタービンが三崎公園に安置されていて、タービンがなければ戦艦に変身できない。どうしたらいいのか苦しんでいる中、汐風は一人の戦いを強いられました。その時、澤風と

主人公星心平が会います。私と合体してください」と運命を感じた澤風に助けを求められ、戸惑いながらも正義感の強い星心平は協力することになります。タービンを失った澤風が戦艦に変身するために星心に託したことは…まさかの方法で澤風にパワーを送ることになるのです。はたして星心平は澤風と力を合わせて戦うことができるのか？ 戦艦!? 澤風、汐風がどのように戦うのかは乞うご期待！

To be continued…



ついに登場！主人公「星心平」



# マジカル☆ハーバーナイト小名浜

11月4日にアクアマリンパークで市政施行50周年・小名浜港開港60周年記念事業「マジカル☆ハーバーナイト小名浜」が開催されました。福島ガイナックスが中心となって進められたマジカル福島2016の一環で、まずはしおさいかわら版でも何度か紹介している駆逐艦汐風と澤風を題材としたアニメーションの制作発表が行われました。登場キャラクターのお披露目やデザイナー映像の公開のほか、総監督を務める福島ガイナックスの浅尾社長や出演声優によるトークショーも行われ、会場は大いに盛り上がりました。イベント後半では、ガイナックス本社の過去作品「トッポをねええ！」上映会や汐風・澤風アニメの主題歌を担当するBISHのライブも行われるなど、初冬の港



の夜は、寒さも忘れるまでにマジカルなひと時となりました。

## 小名浜学事始め

### 『小名浜一小』

小名浜の学びの原点は、小名小学校（現在のいわき市立小名浜第一小学校）です。同校は明治9年（1876）11月、中町小学校（地福院に教室）と中嶋小学校（安養院に教室）を統合して、木造2階建て100坪、教員2名、生徒数は男子11名、女子12名で本町21番地に開校しました。明治20年には小名浜尋常高等小学校と改称。児童の増加（明治33年697名）により、明治36年12月に本町蛭田南に300坪12教室の校舎が建てられました。



▶小名浜第一小学校旧校舎（昭和30年代）

した。昭和42年（1967）2月には現在の校地・岡小名字台の上に移りました。その跡地は、小名浜の商業の核として「小名浜ショッピングセンター」「小名浜名店街」になりました。

## 満腹ツアー行ってきました!!

小名浜スタンプクラブでは、11月20日に「秋の満腹ツアー」を行いました。今年には参加募集をして早々に40名の定員に達するなど、ますます人気の高まる満腹ツアーですが、今回は仙台湾の杜水族館でイルカ・アシカのショーを楽しんだ後、松島・大観荘で新鮮な海鮮ランチバイキングを堪能しました。こぼれんばかりの山盛りにイクラをのせて、自分たちで作る海鮮丼の美味しさは格別!

ランチの後は、震災から5年、かつの美しさを取り戻した松島を観光。今年



もお腹も笑顔もいっぱいになる満腹ツアーでした。

## めだかの囃き



63回の開催を数えるいわき花火大会は、大きく3つのイベントで構成されています。その1つが「おなほま海遊祭」です。花火大会のプレイベントの位置づけで海の日付近の日程で開催されます。このイベントの企画運営を担うのが「海遊祭委員会」です。海上イベントを通して海に親しみを持っていたけけるようにジェットスキーやゴムボート、バナボート等の体験乗船の機会をつくり、そしてアクアマリンパークの賑わいづくりの為に各種の展示や遊戯の設置等の陸上イベントも行っています。

体験乗船の安全性を維持するために、年間を通してドライバード研修会を開催。毎月のイベント内容の企画検討会議は勿論のこと、海上ピットや小型船舶等のメンテナンスなど、開催準備は年間を通して行われています。

開催直前ともなると早朝から深夜まで、備品のチェック、企画の安全性の確認、機材の運搬や設置に汗を流し、晴天を願いながら皆様のご来場を待つ委員会です。

（著：F・O）

## 小名浜まちづくり市民会議のホームページがリニューアル

平成28年度の広報活動の1つとして小名浜まちづくり市民会議のホームページをリニューアルしました。アドレスは、[onahama.jp](http://onahama.jp) 検索 です。しおさいかわら版、フェイスブックのページと共に市民会議の活動を発信してまいります。是非、ご覧ください。

## 小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。



市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請！いいね！してね！

## 会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町11-1（まちづくりステーション小名浜）  
TEL: 52-1275 FAX: 52-1415  
http://onahama.jp/ E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政囃託員（区長）連合会の御協力により配布しております。